

科目名	カウンセリング実務演習 I				
担当者氏名	佐谷 力				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

カウンセリングの理論や技術を生かして、いろいろな人とのよりよい関係づくり、悩みを抱えた人への心の援助のあり方を考察していく。また、その実践力を養うために、様々な事例を通しての演習を行う。その過程で、保育や教育の現場において生かせるコミュニケーションの力を養う。話し合いや聴き取り等の演習を多く取り入れるので、積極的に参加する姿勢が求められる。

《授業の到達目標》

- ・悩みを抱えた人の問題の解決に向けて、傾聴の基本的な姿勢と具体的な援助の方法を理解し身につける。
- ・カウンセリングの考え方や技術を、保育や教育の現場においての実践に生かせる応用力を身につける。

《成績評価の方法》

平常点（発表、受講態度など）	40%
提出物（プリント、レポート）	40%
定期試験	20%

《テキスト》

解説資料と演習問題を作成し、随時配布する。

《参考図書》

参考資料・文献は、講義の中で紹介する。

《授業時間外学習》

- ・学習したテーマについてふりかえり、実践に向けての方法を考察し、整理する。
- ・出された課題について仕上げて提出する。
- ・次回のテーマについて調べてくる。

《備考（教員経験の有無）》

この教科は小学校と高等学校の教員経験に基づき構成しています

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	授業の進め方・評価方法・学習内容
2	自分をふりかえる1	自分自身の、人との対話における姿勢をふりかえる
3	自分をふりかえる2	具体的な課題の話し合いを行う中で、自分の参加姿勢をふりかえる <話し合い演習1>
4	自分をふりかえる3	具体的な課題の話し合いを行う中で、自分の判断の中での価値観をふりかえる <話し合い演習2>
5	カウンセリングの過程を知る	実際のカウンセリングの過程を学び、カウンセリングの基本姿勢と対応を整理する
6	傾聴について1	傾聴の具体的な姿勢、傾聴の効果について考える
7	傾聴について1	傾聴の効果、傾聴とクレーム対応について考える
8	傾聴の基本態度1	傾聴と共感、傾聴と受容について考える <聴き取り演習1>
9	傾聴の基本態度2	傾聴と沈黙、傾聴と質問について考える <聴き取り演習2>
10	傾聴の実践技術	様々な傾聴技術を使うことを体験する <傾聴演習>
11	カウンセリングの実際1	カウンセリングの失敗している対話事例を分析し、するべきではないことを整理する
12	カウンセリングの実際2	カウンセリングの信頼関係が生まれている対話事例を分析し、重要なかわりについて整理する
13	カウンセリングの実際3	カウンセリングの対話事例の中で、様々な対応の技術を使って応答する <応答演習>
14	カウンセリング・シナリオ作成	指示した課題に応じて、信頼が生まれ、クライアントが成長できる対話のシナリオを作成する
15	まとめとふりかえり	対話のシナリオを発表し合い、授業の学びをふりかえり整理する